

# 地域おこし協力隊が 三原で過ごす日々

## みはライフ!

市外から移住して来た9人の隊員が、地域課題の解決に向けて活動中!



今月の担当は  
坂江 隆太  
です!

【出身】石川県金沢市  
【趣味】釣り、山登り、マインドスポーツ(麻雀、ポーカー)  
【活動エリア】市内全地域  
【活動テーマ】移住・定住の促進、関係人口の獲得

▲10月から12月に実施した「空き家再生リノベーションワークショップ」の様子

地域おこし協力隊  
の活動は  
市公式noteで!



問 地域企画課  
TEL 0848-67-6011

地域のいろいろな課題に明るく向き合っていくべきで、引き続き応援をよろしく願います!



今後は三原の一企業としても、地域に貢献していきます。また、ビジネスとして空き家を中心に扱う不動産業をスタートし、港町の空き家をリノベーションしたアミューズメントスペースを令和8年度の春にオープンします。

協力隊の活動を終えて  
三原で新事業スタート

移住や関係人口をテーマに活動してきた地域おこし協力隊の任期が、11月末で終了しました!

この3年間、市内のさまざまな地域活動に関わらせていただき、感謝しています。最近では、空き家活用を通じた関係人口の創出をめざし、本町で「空き家再生リノベーションワークショップ」を行いました。協力隊の任期後も、三原への恩返しとして、こうした活動を続けていきます。

なるほど!



れきみん・虎の巻

とらのまき

◆文化課が市の文化財などを分かりやすく紹介◆

・第三号・

### 愛称の応募方法

1. はがきに名前、住所、電話番号、年齢、愛称の説明を記入し市教委文化課(〒723-8601港町三丁目5番1号)へ
2. インターネットの専用フォームから
3. 資料館に備え付けの応募用紙に記入し応募箱へ投函



▲応募・詳細はこちら(市HP)

募集締切 令和8年1月13日(火)  
(当日消印有効)

FAX TEL 問  
0848-649234  
0848-675912  
文化課



三原城内で使用されたといわれる杉戸(左写真)は、近年まで三原小学校で保管されていました。杉の一枚板で、高さは約1.9メートルあり、「竹林に虎」が描かれています。現在の三原駅南にあった三原城の本丸御殿の建築部材として使用されたと伝わっています。

一 みんなで考えよう!

二 杉戸(市指定重要文化財)



今月のコラム  
第48回

# 市長



## メルカリShops

リユースの輪を  
広げましょう

師走を迎え、何かと慌ただしい季節となりました。年末の恒例といえば大掃除。家庭でも身の回りを整え、不要となった物を整理する人が多いのではないのでしょうか。最近では、廃棄するだけでなく、フリマアプリなどを通じて販売し、新たな持ち主に活用してもらうという方法を選ばれる人も増えているようです。

本市においても、令和7年8月に「メルカリShops」を開設し、市で不要となった物品を販売する新たな取り組みを始めました。学校や公共施設などの廃止に伴い、役目を終えた物品を必要とする人に譲ることで、廃棄物の削減と資源の有効活用を図るものです。すでに多くの品が売却され、例えば、かつて理科の授業で使われていた顕微鏡や望遠鏡、音楽の授業で使われていた鉄琴などが新しい持ち主のもとへと渡っていきました。

「もったいない」という言葉は、日本の暮らしの知恵であると同



▲市「メルカリShops」開設式の様子

時に、持続可能な社会づくりをめざすSDGsの精神にも合致しています。その精神でリユースを進めることは、環境負荷を軽減し、循環型社会の実現に向けた大きな一歩になります。年の瀬を迎える今こそ、身の回りを整えながら、リユースの輪を広げてみませんか。市の取り組みをきっかけに、市民の皆さんにリユースの意識がさらに広がり、持続可能なまちづくりにつながっていくことを心から期待しています。



▲市HP



ニュージーランド出身の  
国際交流員コラム

● Vol.27 ●



CIR (国際交流員)  
ジェイク・ロコブ

知ってる?

### ニュージーランド

#### 海外在住のニュージーランド人

ニュージーランドの人口は2025年10月時点でおよそ525万人です。国外に住んでいる人は推定約100万人で、そのうちの約60%がオーストラリアに、その他はイギリス、アメリカ、カナダなどに多く住んでいます。

Information for foreign  
nationals in Mihara

＜ CIRが三原の  
魅力などを発信中! ＞

Instagram & Facebook



◀ Instagram

Facebook ▶



ホリデーシーズンの空港

### にぎやかで楽しいホリデーシーズン

12月は、ニュージーランドが特ににぎわう季節。国内線・国際線ともに多くの便が発着するオークランド空港は、家族や友人とクリスマスや新年を祝うために帰省する、たくさんの人で活気にあふれます。12月中旬から学校が約3カ月間の夏休みに入り、ほとんどの企業や店舗も約2週間の休みになるため、人々はゆったりとホリデーを楽しめます。

夏空の下、バーベキューやピクニック、キャンプなどのアウトドアを満喫し、新鮮なシーフードや季節の定番デザート「パヴロバ」などを食べます。大みそかには、オークランド市やウェリントン市などで花火が打ち上げられ、音楽フェスティバルが開催されるなど、新年を盛大に迎えます。

●多言語相談窓口(市役所本庁4階)

問 経営企画課(TEL 0848-67-6270 FAX 0848-64-7101)